

1.11は アルミの日

国産アルミニウム誕生の日

1934年1月11日、日本初の電解製錬によるアルミ製品が製造されました

日本アルミニウム協会は、国産アルミニウム誕生の日である1月11日を「アルミの日」^{※1}としました。アルミニウムが国内の産業や生活を支える重要で身近な素材であることを広く伝えたいという思いから、日本で初めて電解製錬によりアルミニウムが製造された(1934年^{※2})1月11日を選びました。

今後は「アルミの日」を活用し、アルミニウムの特性や、環境にやさしい素材であることなどを広く周知する活動を実施していきます。

※1 「アルミの日」：商標登録済

※2 ボーキサイトを原料とした電解製錬による企業化に成功

国産アルミニウムの誕生

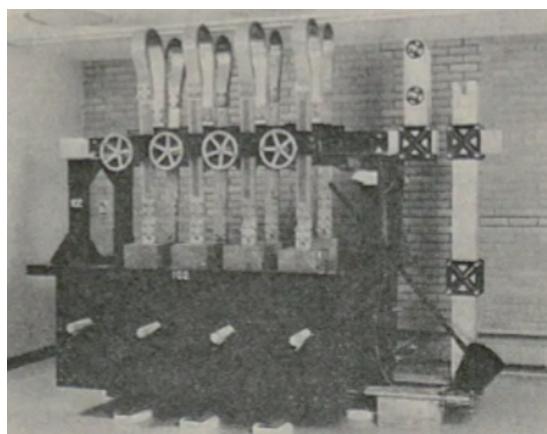
1934(昭和9)年1月11日、昭和電工大町工場(現：株式会社レゾナック・グラファイト・ジャパン)で、日本初の電解製錬によるアルミニウム製品が製造されました。このとき使用された電解炉と、取り出されたアルミニウムのサンプルが右の写真です。

アルミニウムの国産化は、その後の産業界や私たちの生活の発展に大きく寄与しました。

「電解製錬」とは？

電解製錬法は、電気分解によってアルミニウムを製錬する工業的手法です。アルミニウムの酸化物であるアルミナの溶液を電解炉に入れ、アルミニウムと酸素に分解してアルミニウムを取り出します。

自然界に存在するアルミニウムはすべて化合物であるため、単体で金属として利用できるようになるまでには苦難の歴史がありました。



最初の電解炉



国産アルミニウム誕生を
記念したサンプル

資料提供：株式会社レゾナック